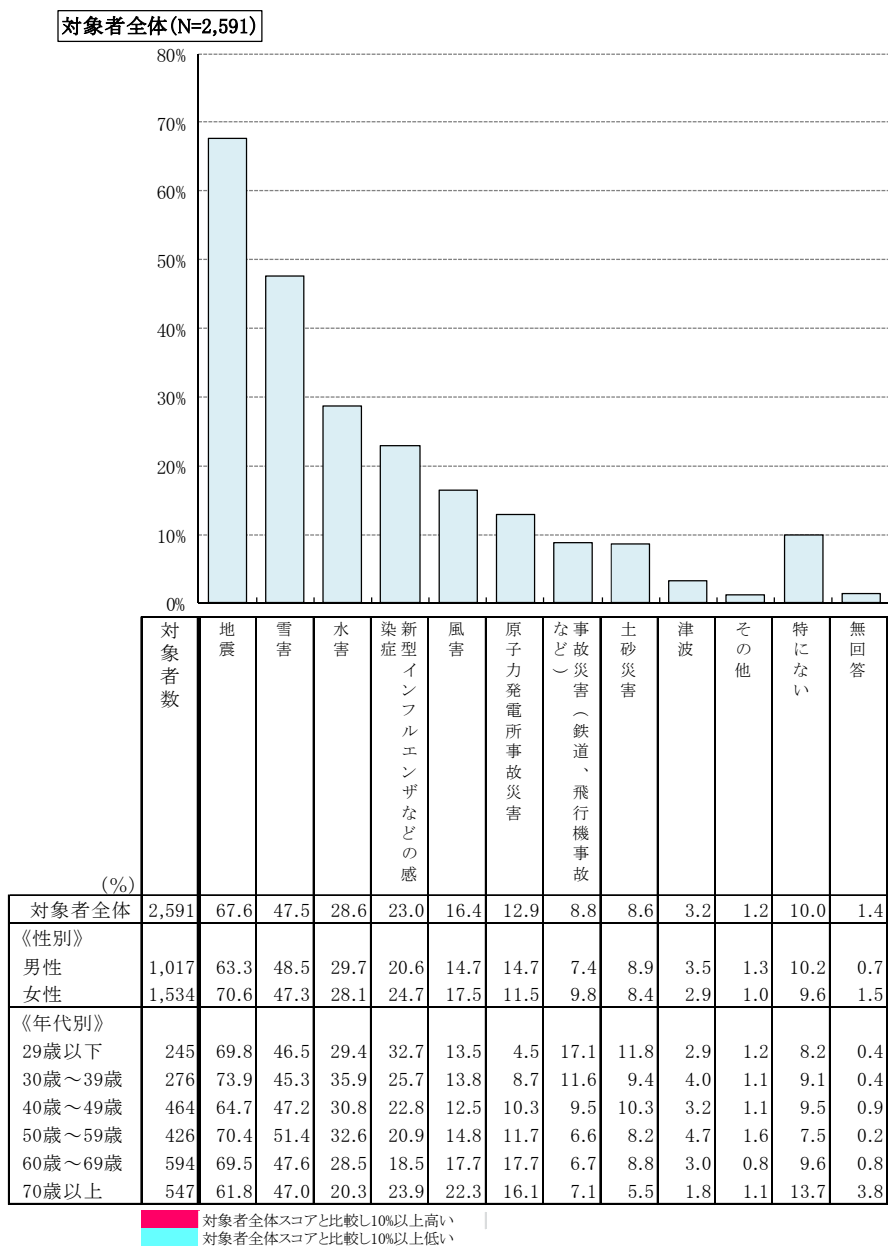


(3) 防災意識・災害への備えについて

地域で特に心配だと思ふ災害

【問1】 あなたの住んでいる地域で、特に心配だと思ふ災害はありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

7 割弱の人が、「地震」が住んでいる地域で特に心配だと思ふと回答



【対象者全体】 住んでいる地域で特に心配だと思ふ災害は、「地震」が 67.6%と最も高く、次いで「雪害」が 47.5%、「水害」が 28.6%となっている。

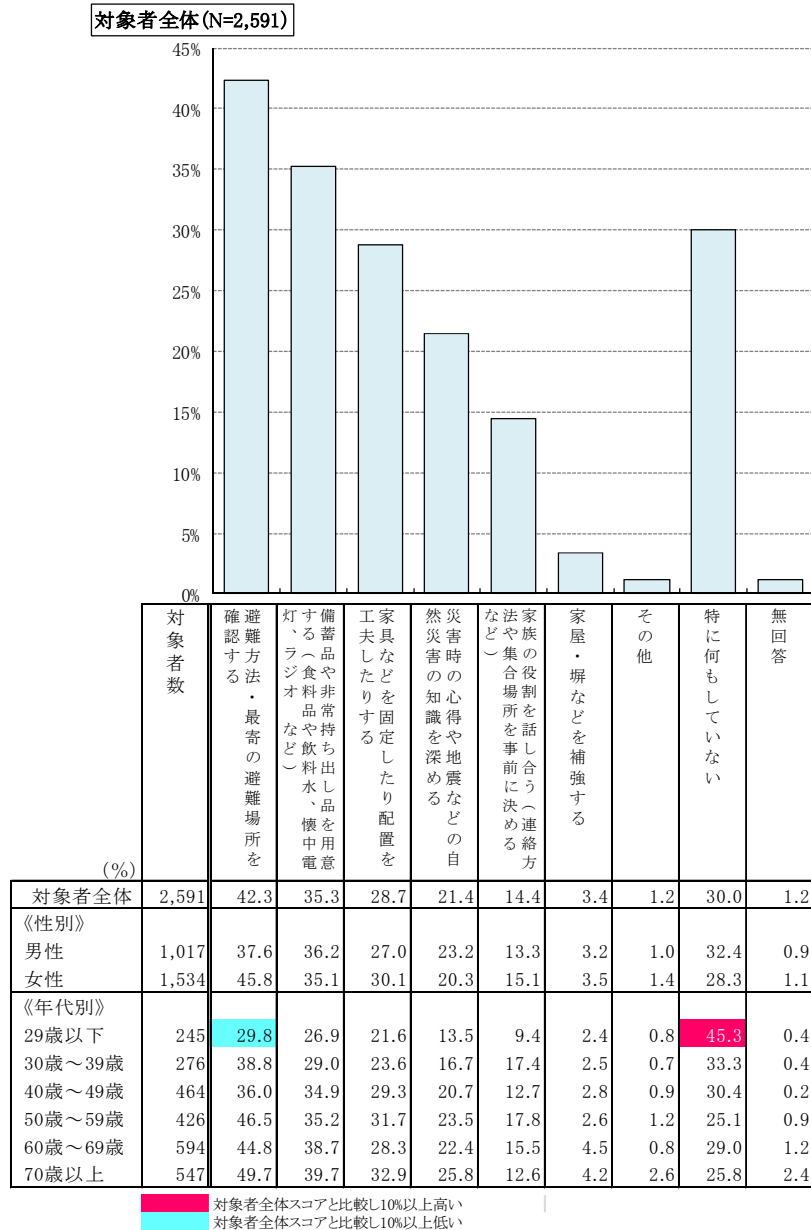
【性別】 男女ともに「地震」が最も高くなっており、女性が 70.6%で男性の 63.3%より 7.3 ポイント高くなっている。

【年代別】 「水害」が 30 歳代(35.9%)で最も高く、最も低い 70 歳以上(20.3%)とでは、15.6 ポイントの差となっている。

家庭での災害対策

【問2】 あなたのご家庭では、災害に備えてどのような対策をとっていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

家庭で最も行われている災害対策は「避難方法・最寄の避難場所を確認する」ことで、4割以上の人が実施している



【対象者全体】 家庭での災害対策は、「避難方法・最寄の避難場所を確認する」が 42.3%と最も高く、次いで「備蓄品や非常持ち出し品を用意する(食料品や飲料水、懐中電灯、ラジオ など)」が 35.3%、「家具などを固定したり配置を工夫したりする」が 28.7%となっている。一方で、「特に何もしていない」が 30.0%となっている。

【性別】 男女ともに「避難方法・最寄の避難場所を確認する」が最も高くなっており、女性が 45.8%で男性の 37.6%より 8.2 ポイント高くなっている。

【年代別】 29歳以下で「避難方法・最寄の避難場所を確認する」が 29.8%と、全体と比較して 12.5 ポイント低くなっており、「特に何もしていない」(45.3%)が、全体より 15.3 ポイント高くなっている。

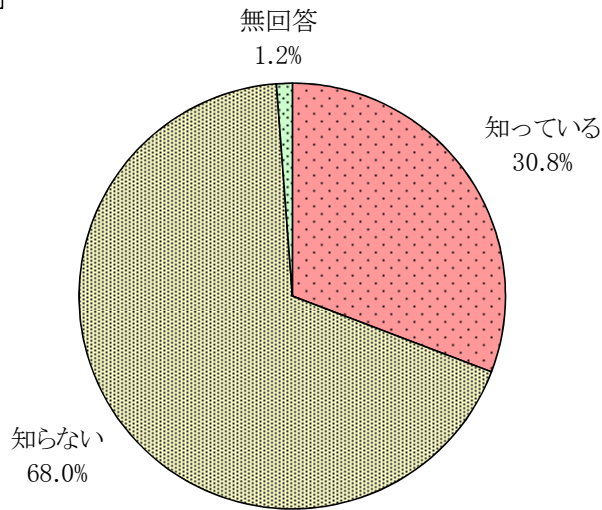
なお、「備蓄品や非常持ち出し品を用意する(食料品や飲料水、懐中電灯、ラジオ など)」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

指定緊急避難場所の災害種別指定の認知度

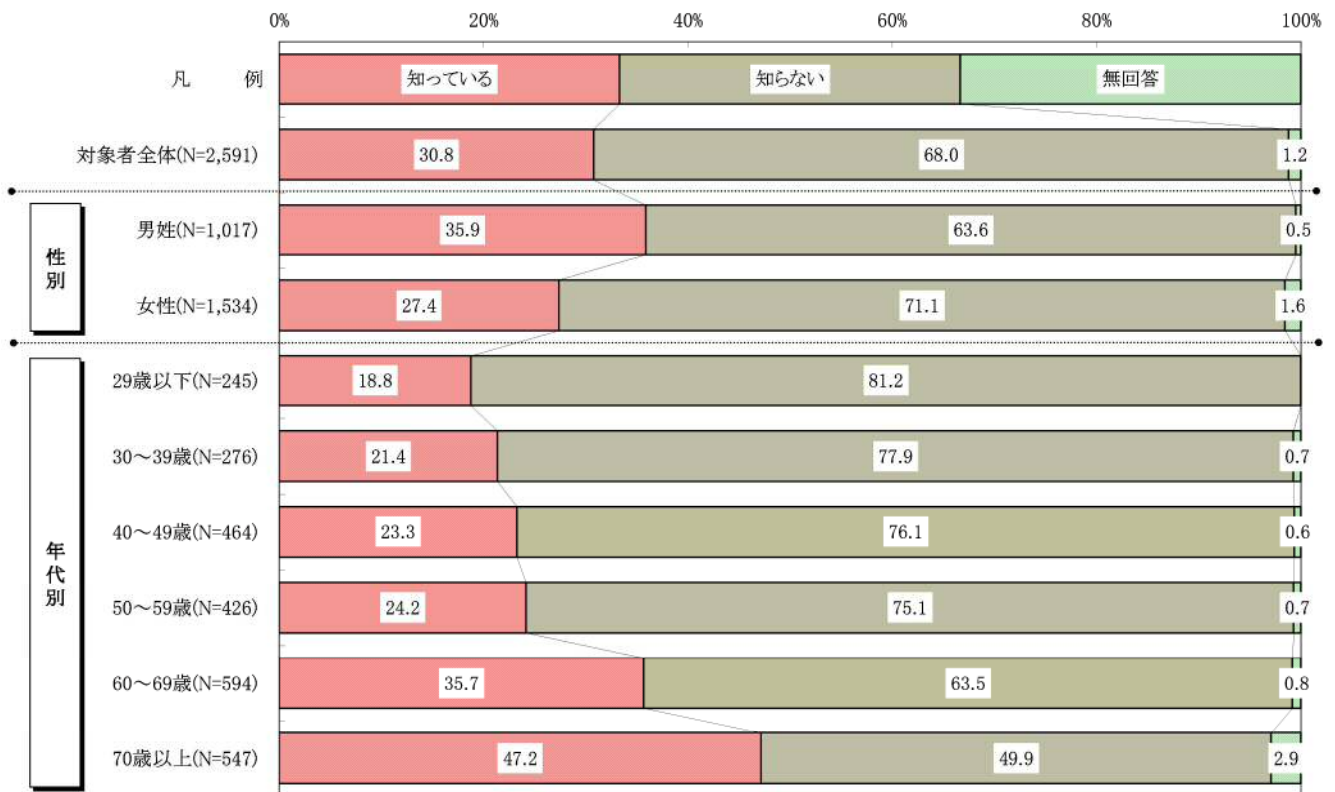
【問3】 あなたは、指定緊急避難場所が災害種別（洪水、土砂、地震、大規模な火事）ごとに指定されていることを知っていますか。

指定緊急避難場所が災害種別ごとに指定されていることを、「知っている」と回答したのは3割

対象者全体(N=2,591)



【対象者全体】 指定緊急避難場所の災害種別ごとの指定について、「知っている」が30.8%、「知らない」が68.0%となっている。



【性別】 男性が女性よりも「知っている」が高く、男性が35.9%で女性の27.4%より8.5ポイント高くなっている。

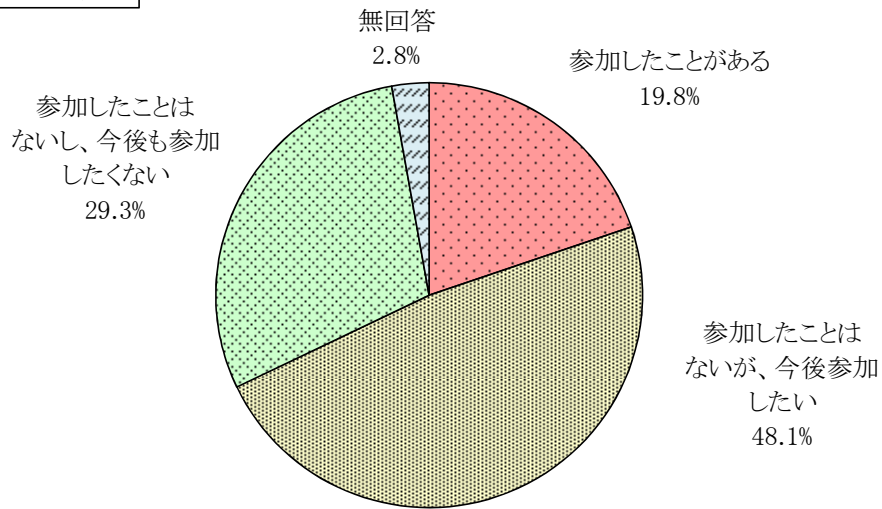
【年代別】 「知っている」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

防災活動・防災関連行事への参加有無

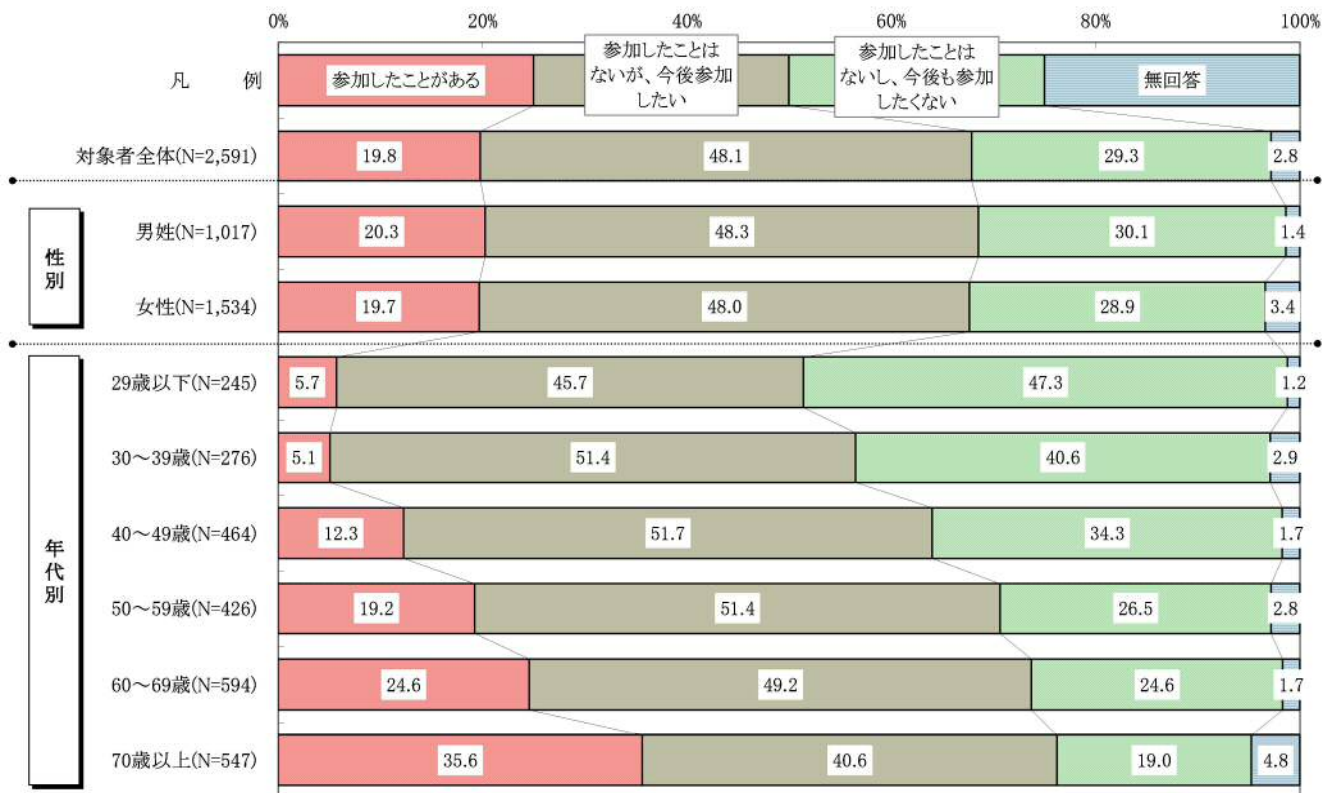
【問4】 あなたは、区役所や町内会等が行う、防災訓練や防災講演会などの防災活動や防災関連行事に参加したことがありますか。

2割の人が、防災活動・防災関連行事に「参加したことがある」と回答

対象者全体(N=2,591)



【対象者全体】 防災活動・防災関連行事への参加について、「参加したことがある」が 19.8%、「参加したことはないが、今後参加したい」が 48.1%となっている。一方で、「参加したことはないし、今後も参加したくない」が 29.3%となっている。



【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「参加したことがある」は、30 歳代(5.1%)で最も低くなっているが、40 歳以上では年代が上がるにつれて、割合が高くなっている。

なお、「参加したことはないし、今後も参加したくない」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

防災活動・防災関連行事への参加時期

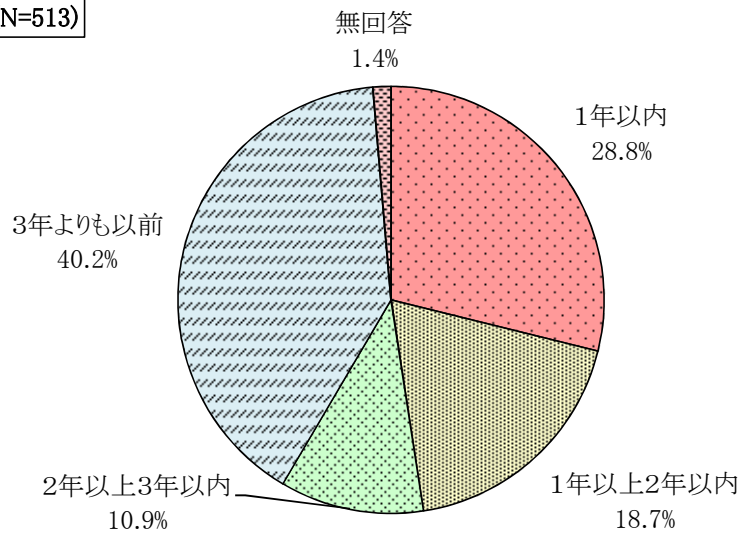
《問4で「1 参加したことがある」と答えた方にお聞きします。》

【問4-1】 あなたが、防災訓練などに参加したのはいつですか。

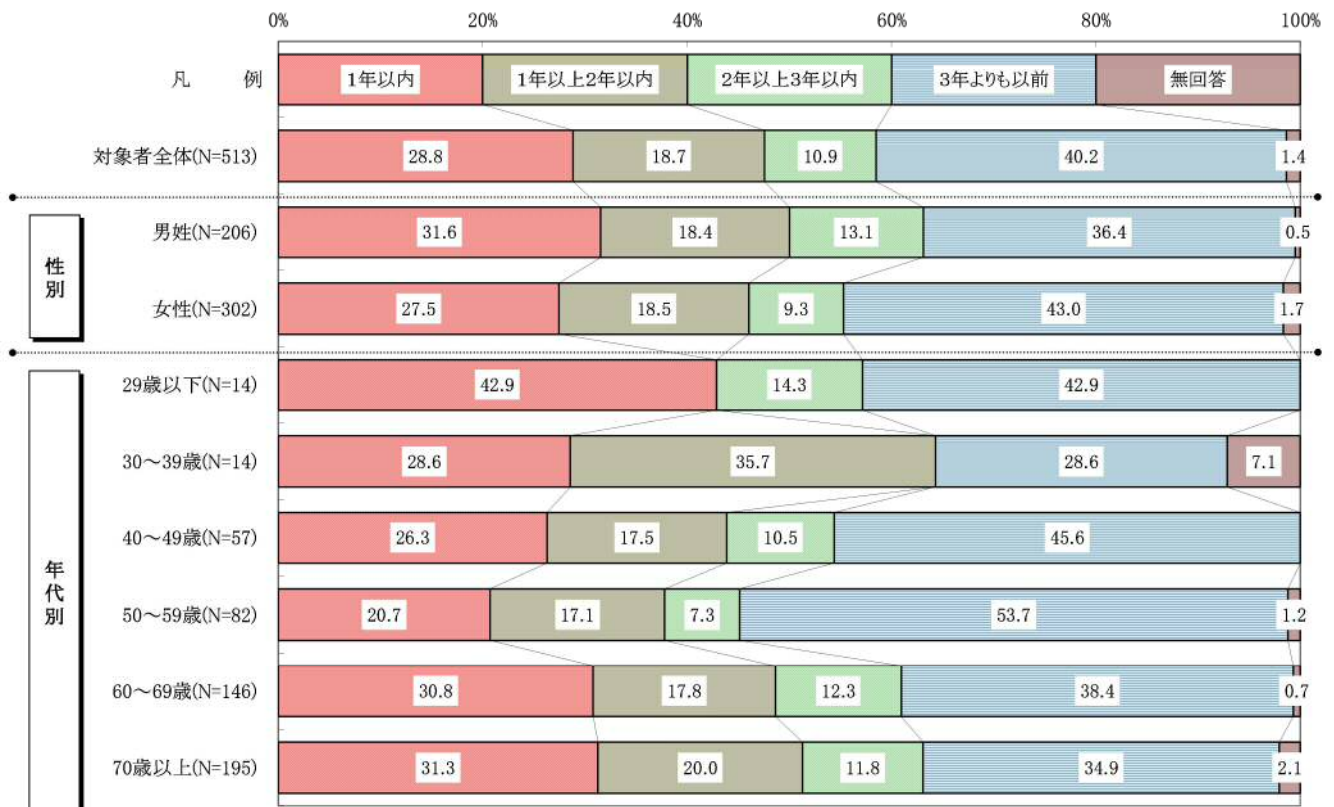
“3年以内”に防災活動・防災関連行事へ参加したことがあると回答したのは6割弱

“3年以内”（「1年以内」+「1年以上2年以内」+「2年以上3年以内」）

対象者全体(N=513)



【対象者全体】 防災活動・防災関連行事への参加時期について、「1年以内」が28.8%、「1年以上2年以内」が18.7%、「2年以上3年以内」が10.9%、合わせると58.5%となっている。また、「3年よりも以前」が40.2%となっている。



【性別】 男性が女性より“3年以内”が高く、男性が63.1%で女性の55.3%より7.8ポイント高くなっている。

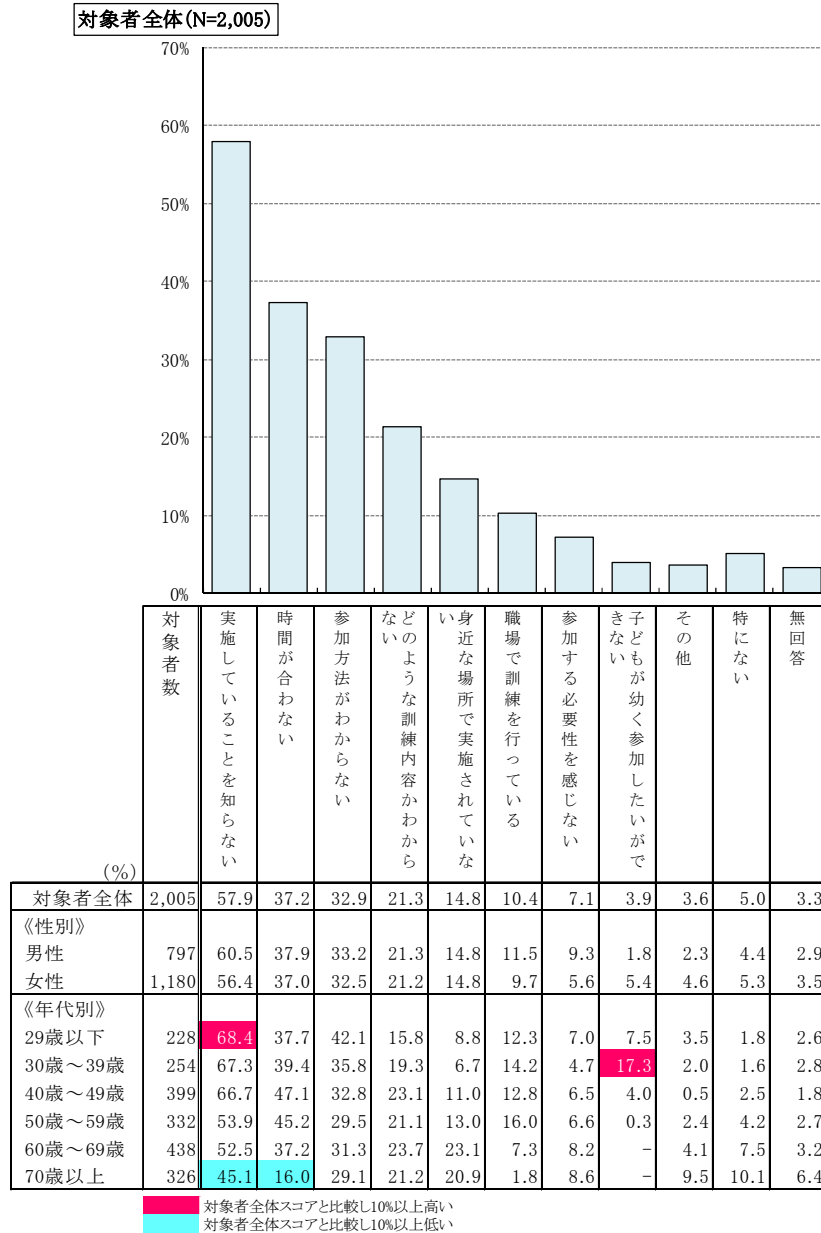
【年代別】 50歳代では、“3年以内”が45.1%と、全体と比較して13.4ポイント低くなっている。

防災活動・防災関連行事に参加したことがない理由

《問4で「2 参加したことはないが、今後参加したい」または「3 参加したことはないし、今後も参加したくない」と答えた方にお聞きます。》

【問4-2】 あなたが、防災訓練などに参加したことがない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも〇をつけてください。

防災活動・防災関連行事に参加したことがない理由として、「実施していることを知らない」が6割弱



【対象者全体】 防災活動・防災関連行事に参加したことがない理由について、「実施していることを知らない」が57.9%と最も高く、次いで「時間が合わない」が37.2%、「参加方法がわからない」が32.9%となっている。

【性別】 男女で大きな差は見られない。

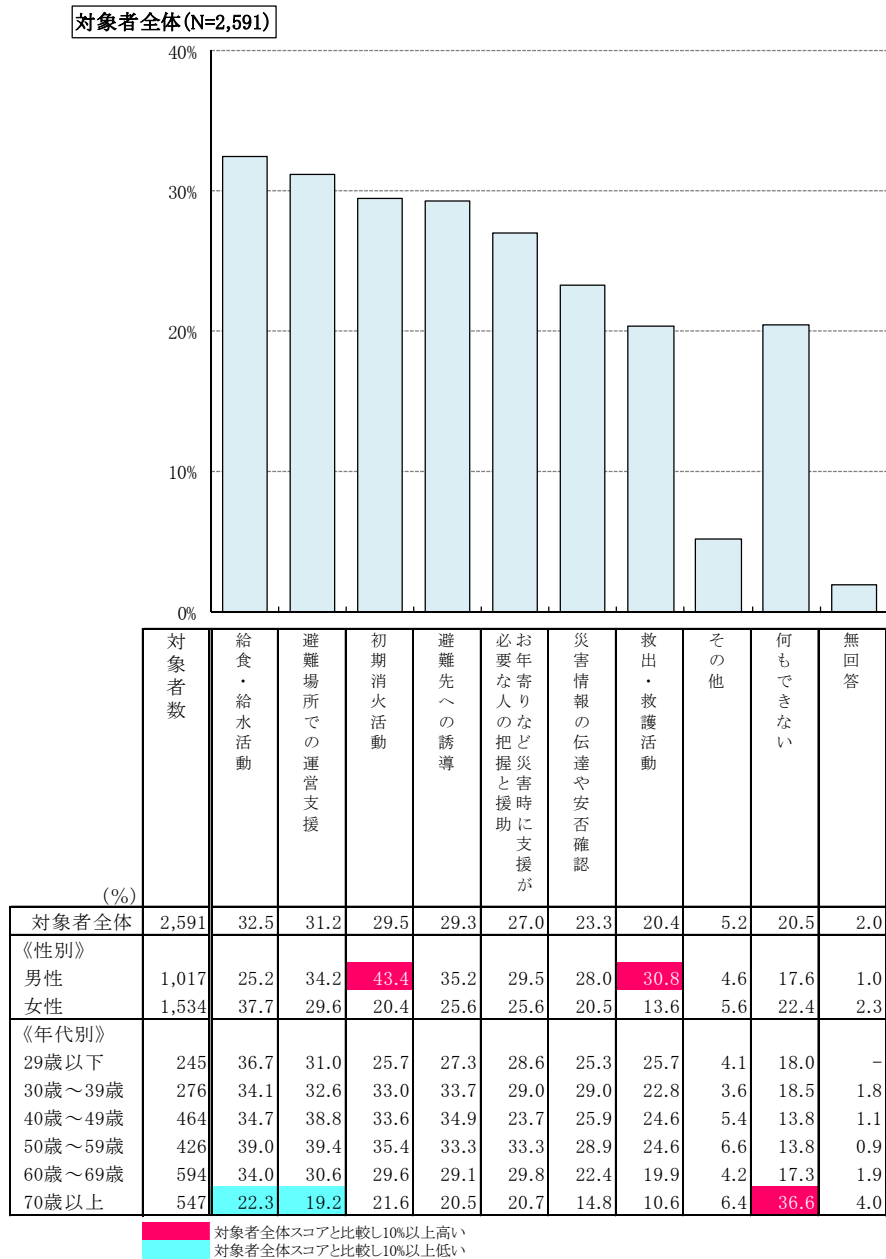
【年代別】 「実施していることを知らない」は、29歳以下(68.4%)で最も高くなっており、年代が上がるにつれて、割合が低くなっている。

なお、30歳代では、「子どもが幼く参加したいができない」が17.3%と、全体より13.4ポイント高くなっている。

災害発生時の地域防災活動への協力

【問5】 万一、災害が起こった場合、地域で行う防災活動のうち、あなたはどのような協力ができますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

災害発生時の地域で行う防災活動のうち、3割以上の人々が「給食・給水活動」「避難場所での運営支援」に協力できると回答



【対象者全体】 災害発生時の地域防災活動への協力について、「給食・給水活動」が 32.5%と最も高く、次いで「避難場所での運営支援」が 31.2%、「初期消火活動」が 29.5%となっている。

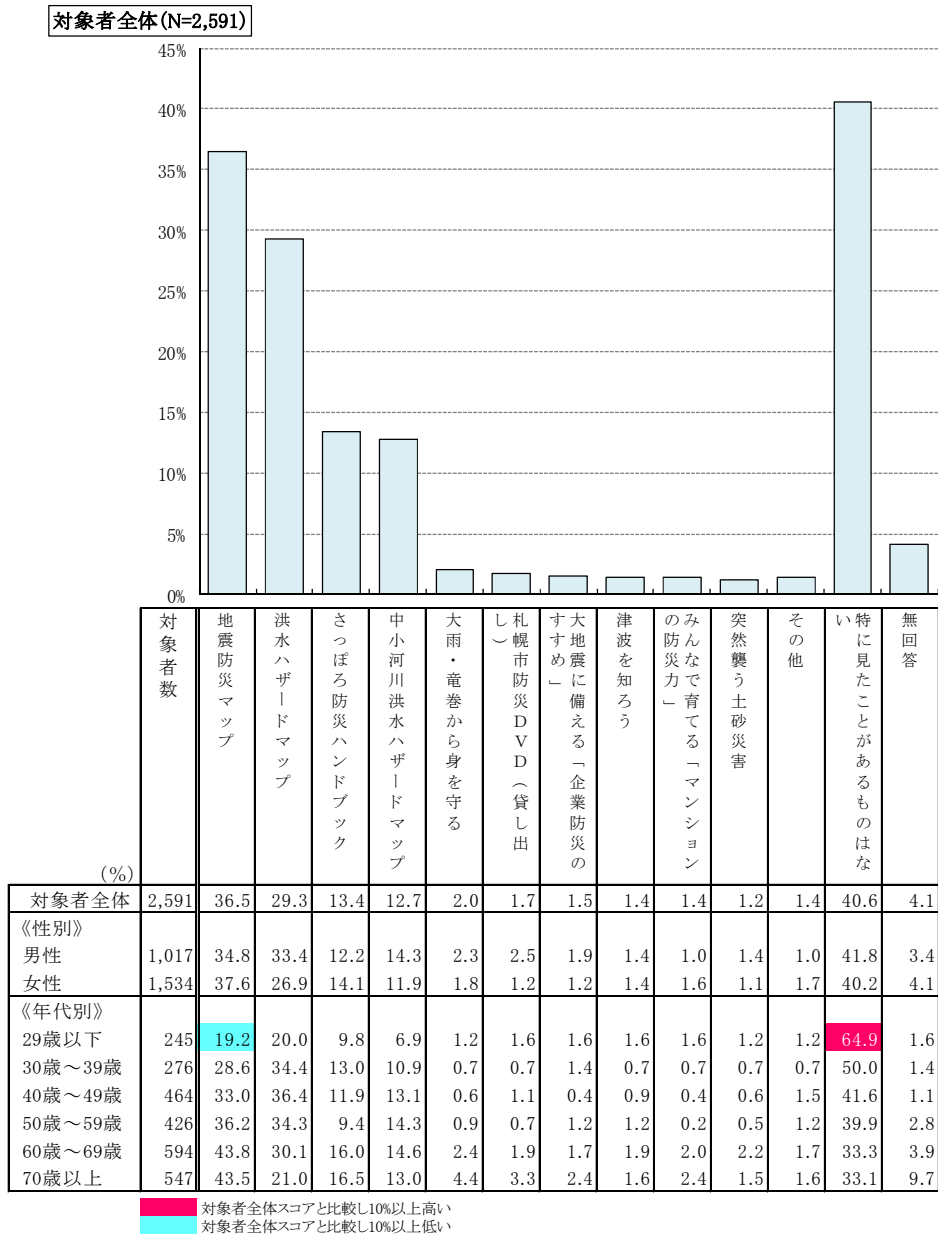
【性別】 男性では「初期消火活動」が 43.4%と最も高くなっている。また、男性は女性よりも「救出・救護活動」が高く、男性が 30.8%で女性の 13.6%より 17.2 ポイント高くなっている。

【年代別】 40～50 歳代では「避難場所での運営支援」が最も高くなっている。

防災に関する資料の認知度

【問6】 あなたは、次の防災に関する資料を見たことがありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

最も多く見たことがある防災に関する資料は「地震防災マップ」で 36.5%



【対象者全体】 防災に関する普及啓発用パンフレットの認知度について、「地震防災マップ」が 36.5%と最も高く、次いで「洪水ハザードマップ」が 29.3%、「さっぽろ防災ハンドブック」が 13.4%となっている。一方で、「特に見たことがあるものはない」が 40.6%となっている。

【性別】 男女で大きな差は見られない。

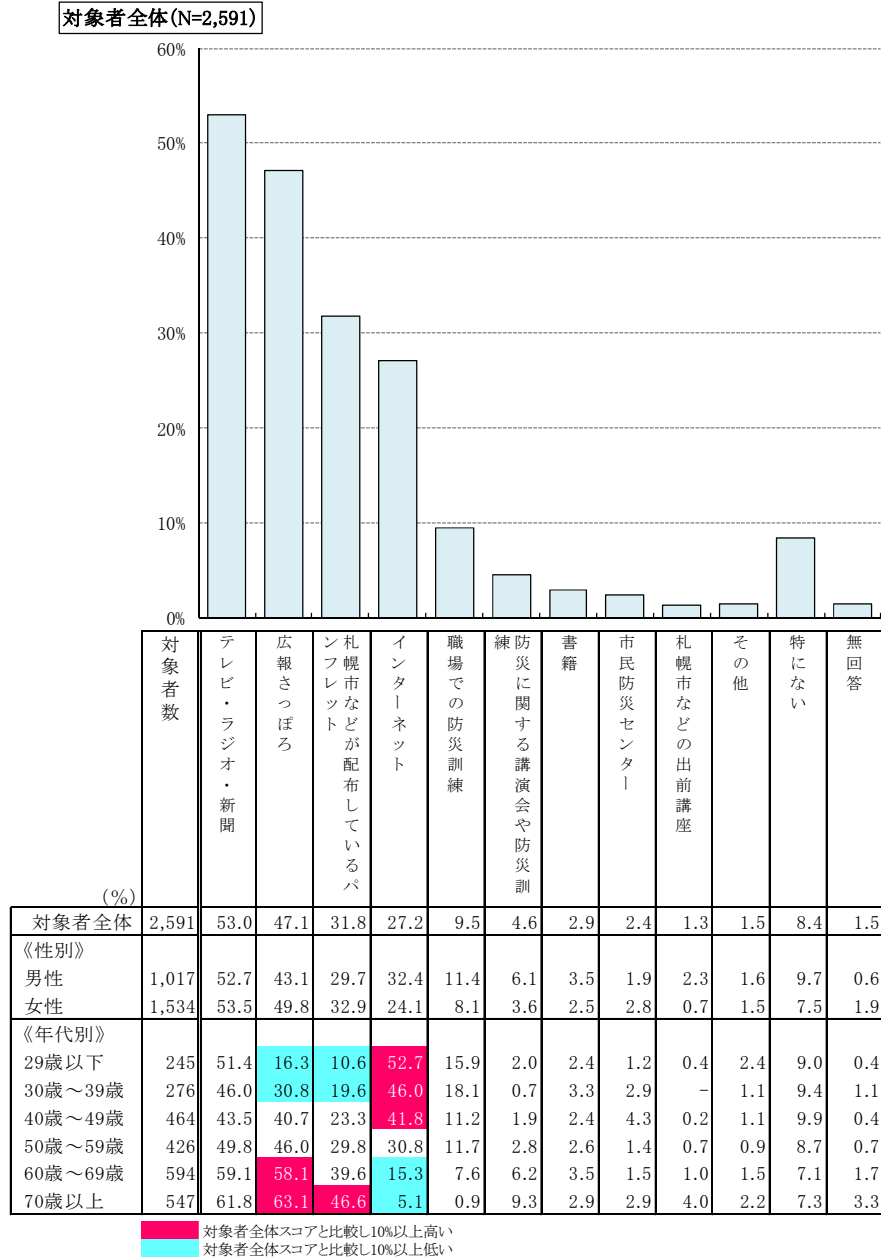
【年代別】 29歳以下では、「地震防災マップ」が 19.2%と、全体と比較して 17.3ポイント低くなっている。また、30～40歳代では「洪水ハザードマップ」が最も高くなっている。

なお、「特に見たことがあるものはない」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

防災に関する知識や情報の入手手段

【問7】 あなたは、防災に関する知識や情報を、どのような方法で入手していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

防災に関する知識や情報の入手手段として、「テレビ・ラジオ・新聞」が5割以上



【対象者全体】 防災に関する知識や情報の入手手段について、「テレビ・ラジオ・新聞」が 53.0%と最も高く、次いで「広報さっぽろ」が 47.1%、「札幌市などが配布しているパンフレット」が 31.8%となっている。

【性別】 「インターネット」が男性で 32.4%と、女性の 24.1%より 8.3 ポイント高くなっている。一方で、「広報さっぽろ」が女性で 49.8%と、男性の 43.1%より 6.7 ポイント高くなっている。

【年代別】 49歳以下で「インターネット」が全体と比較して 10ポイント以上高くなっているが、60歳以上では「広報さっぽろ」が全体より 10ポイント以上高くなっている。また、70歳以上では「札幌市などが配布しているパンフレット」(46.6%)が全体より 14.8ポイント高くなっている。